



地域
芸能
と歩む

今を生きる人々と育む地域芸能の未来 下半期プログラム

沖縄には豊かな芸能と、それを支える文化を育んできた歴史があります。しかし、地域社会の急速な高齢化や都市化にともない、これまで地縁・血縁で継承されてきた芸能が存続の危機にさらされている場合も少なくありません。コミュニティの変容にともない、芸能の継承のあり方も「保存」から「持続可能性」へと転換すべき時代がやってきました。そこで、本プロジェクトでは、「伝統芸能」や「民俗芸能」といった従来の区分にとらわれず、地域の人々が今、「芸能」と認識して実践しているものを「地域芸能」ととらえ直し、その持続可能な未来について、参加するみなさんとともに考えていきます。



1「レクチャー・シリーズ」

「地域芸能の」

マネジメントを設計する」

(全4回)

「文化資源」「地域資源」の「活用」が語られ、地域芸能が地域の担い手たちだけのものではなく、行政や観光など様々な立場の人々が関わるものとなっている現状を踏まえ、これからの地域芸能をマネジメントするために必要な理論を学んでいきます。(定員各回15名)

第3回「うたの生態系から見る」

琉球弧の地域文化とその多様性」

●日時 2019年12月14日(土)

10時～14時(3コマ)

●場所 沖縄県立図書館 4F交流ルーム

●講師 桑原季雄(鹿児島大学教授)

小西潤子(沖縄県立芸術大学教授)

第4回「被災地から考える」

地域芸能の持続可能性」

●日時 2020年1月11日(土)

10時～14時(3コマ)

●場所 沖縄県立図書館 4F交流ルーム

●講師 高倉浩樹(東北大学教授)

呉屋淳子(沖縄県立芸術大学准教授)

※詳細が決まり次第、

ウェブサイトに告知いたします。

www.chikigoinou.com

プログラムコーディネーター

呉屋淳子(沖縄県立芸術大学准教授)

事業統括・プログラムディレクター

向井大策(沖縄県立芸術大学准教授)

2「フィールドワーク&対話プログラム」

「地域芸能の現場を」

フィールドワークする」

(全2回)

地域社会の現在を映し出す優れた地域芸能の実践の場を訪ね、そこにたずさわる人々との対話を通じて、変化を続ける地域コミュニティの持続可能性と地域芸能とのかかわりについて考えます。(定員10名)

第2回「伊江村立伊江小学校×宮城県山元町立坂元小学校 子ども芸能交流会」(予定)

●日時 2020年2月13日(木)

●場所 伊江村立伊江小学校

●ファシリテーター 出野紀子(コミュニティデザイナー)

●参加団体 伊江村立伊江小学校、宮城県山元町立坂元小学校

3「アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」

「うたの記憶を紡ぎ出す」

(全4回)

地域で歌い継がれてきた「うた」の記憶を探すアーティスト・イン・レジデンス・プログラム。「うた」の記憶に耳を傾けながら、アーティスト・講師とともに地域文化の豊かな多様性について考えます。(定員5名)

第3回「伊江村のうたの記憶を探す」(予定)

●日時 2019年10月26日(土)

●場所 伊江村立伊江小学校

●講師 大城学(岐阜女子大学特任教授)

川瀬慈(国立民族学博物館准教授)

●聞き手 松田美緒(音楽家)

全プログラム参加無料(要事前申し込み)

問い合わせ先

「今を生きる人々と育む地域芸能の未来」プロジェクト事務局
〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学
Tel: 098-882-5000(大学代表)
Mail: copam2019@gmail.com(事務局)

申し込み方法



氏名、メールアドレス、所属(任意)を明記し、
専用メールアドレス[event2019copam@gmail.com]
よりお申し込みいただくか、
専用フォーム(左記QRコード)よりご登録ください。